

介助用電動アシスト車いす

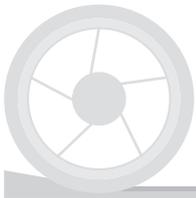
ハイパワー型

アシストホイール[®]

取扱説明書

アシストホイールは、介助される方の負担を軽減するために、車いすを押す力を補助する介助用電動補助装置付アシスト車いすです。
ご使用いただくときは必ず介助者が付添うようお願いいたします。





はじめに

この度は、アシストホイールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本取扱説明書は、アシストホイールを操作される介助者を対象として、取扱方法を説明しています。
- はじめに本書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後は、必要な時にいつでもご覧になれるよう、お手元で大切に保管してください。
- 本書には保証書も含まれていますので、紛失または汚損しないようご注意ください。

※アシストホイール／ASSISTWHEEL は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。[No. 4220105,4220106]

※アシスト／ASSIST は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。[No. 4332604,2168132]

製品改良のため、本書に記載している仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 安全に関する表示

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分し、説明しています。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示しています
 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示しています
注記	取扱いを誤った場合、物的損害のみが発生することが想定される場合を示しています

お守りいただく内容の種類を、下記の記号で区分し、説明しています。

	製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する内容を示しています
	製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為の内容を示しています

その他、知っていると役立つ事項などを、次の記号で区別し、説明しています。

 ポイント	製品の取扱いにおいて、正しい操作方法や知っていると役に立つ事項を示しています
---	--



安全上のご注意

■ 本体に関する取扱注意

警告

準備・保管



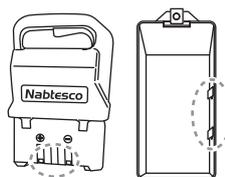
バッテリーは充電の残量に余裕があるものを使用する

走行中にバッテリーの電力が切れると、操作が制御できなくなるおそれがあります。



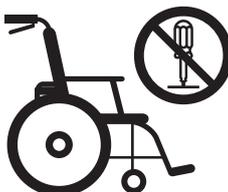
バッテリーおよびバッテリー収納部の端子部には衝撃を与えない

端子部に金属片などを当てたり、強い力を与えたりすると、電源が喪失し事故につながるおそれがあります。



車いすを分解・改造しない

思わぬ事故や機器の故障につながるおそれがあります。



車いすから離れるときは、電源を切り、必ず駐車ブレーキをかける

車いすが勝手に動き出し、事故につながるおそれがあります。



走行



車いすは 14°を超える坂道で使用しない
転倒などの事故につながるおそれがあります。



車いすを傾斜地に駐車や停車しない
転倒などの事故につながるおそれがあります。



滑りやすい路面や濡れた路面では使用しない
車いすがスリップして、事故につながるおそれがあります。



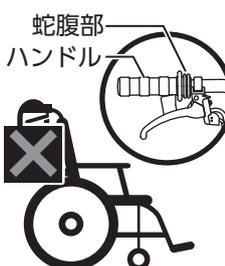
坂道の途中で電源を切らない
アシスト機能が失われると、車いすを支えきれず、事故につながるおそれがあります。



車いすの旋回はゆっくりとする
急に旋回すると搭乗者が車いすから落下するおそれがあります。



ハンドル部やハンドルの蛇腹部に荷物をかけたり、ハンドルの蛇腹部に触れたりしない
アシスト機能が意図せず起動し、操作が制御できなくなるおそれがあります。





⚠ 注意

準備・保管



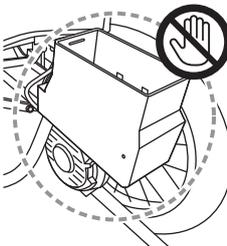
車いすの座シートと背折れジョイントノブがきちんと固定されているか確認する
折りたたみ部を開いたとき、ロックが不十分ですと、事故につながるおそれがあります。



車いすの折りたたみ部の開閉時は可動部に手を挟まないようにする
可動部に手が挟まれると、けがをするおそれがあります。



車いすの使用後および使用直後はモーターとバッテリー収納部下面には触らない
使用状況により、高温になることがありますので、触るとやけどをするおそれがあります。



車いすの走行時以外は、アシスト機能の電源を切り、バッテリーを取外す
バッテリーを装着したまま保管や整備をすると、意図せず電源が入り、事故につながるおそれがあります。



子供が触れる場所に放置しない
いたずらなどにより思わぬ事故につながるおそれがあります。



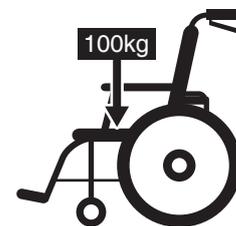
乗車・降車



搭乗者が乗降するときは、アシスト機能の電源を切り、駐車ブレーキをかけて、タイヤをロックする
急に車いすが動き出すと、搭乗者がけがをするおそれがあります。



車いすの搭乗者は100kgを超えない(積載物含)
転倒などの事故につながるおそれがあります。



搭乗者が車いすに乗降するときは、フットレストを上げる
フットレストを下ろしていると、フットレストに足をひっかけ転倒するおそれがあります。



搭乗者が乗降するときは、フットレストに体重をかけさせない
フットレストに負荷がかかると、フットレストが破損したり、転倒によりけがをしたりするおそれがあります。





⚠ 注意

走行



走行中に搭乗者の足がフットレストから落下しないよう、走行前に以下のことを確認する

搭乗者の足が落下して地面やキャストに接触すると、けがをするおそれがあります。

- フットレストとヒールストラップが車いすに正しく設置されている
- 搭乗者の足が確実にフットレストの上に乗っている
- 搭乗者の足元がヒールストラップに当たっている



走行前に搭乗者がシートベルトを締めてきちんと座れているか確認する

搭乗者が正確に座れていなかった場合、車いすから落下するおそれがあります。



走行前に搭乗者と介助者の服や装飾品が車輪に巻き込まれていないか確認する

車輪に巻き込まれていると、体の部位が圧迫され、けがや窒息をするおそれがあります。



アシストホイールの操作は介助者がする
アシストホイールは介助者を補助するための車いすです。



搭乗者は車輪や駐車ブレーキに触らない
走行中、搭乗者の手が車輪や駐車ブレーキに触れると、けがや転落するおそれがあります。



注記



駐車ブレーキをかけたまま走行しない
車いすが故障するおそれがあります。



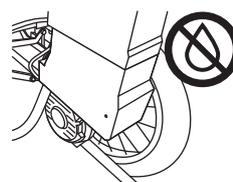
- 車いすを水洗いしない
- 車いすを水でぬらさない
- 結露しているときは使用しない



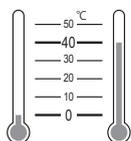
車いすや充電器の配線を引っ張らない
配線を引っ張ると断線するおそれがあります。



車いすを水洗いしたり、水のかかる場所に放置したりすると、電気システムの故障やさびにより破損するおそれがあります。



車いすとバッテリーは0～40°の環境で使用する





■ バッテリー・充電器に関する取扱注意

警告



バッテリーは、付属の充電器で充電する
専用の充電器以外を使用しますと、バッテリーが漏液、発熱、破裂するおそれがあります。



バッテリーを加熱したりショートさせたりしない
発火や破裂するおそれがあります。



バッテリーを分解・改造しない



幼児やペットを近づけない
いたずらにより誤った操作をされると、大変危険です。



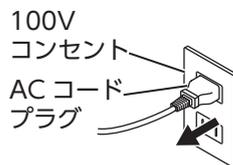
注意



- バッテリーと充電器を落下しそうな場所に置かない
- バッテリーと充電器を水気のある場所に置かない
- バッテリーと充電器を水中に投下しない
衝撃や水は、充電不良および損傷の原因となります。



充電器に異常が発生した場合は、すぐに充電を中止する
充電を続けると、機器の損傷や火災のおそれがあります。
ACコードのプラグをコンセントから抜いてください。

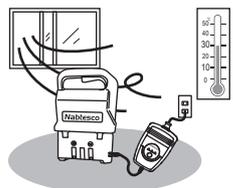


ACコードのプラグや充電コネクタには触らない
けがや機器の損傷につながるおそれがあります。



充電は下記の条件を満たす環境で行う
守られなかった場合は、充電機能の低下やバッテリーが発熱するおそれがあります。

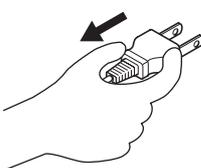
- バッテリーと充電器の周囲に物が無い
- 平坦で安定した場所
- 温度が 10 ~ 30℃に保たれる場所



バッテリーの端子部はお手入れ時以外触らない
充電不良および損傷の原因となります。



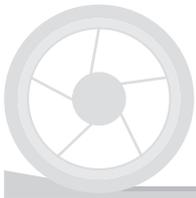
ACコードはプラグを持って抜く
線を引っ張ると断線するおそれがあります。



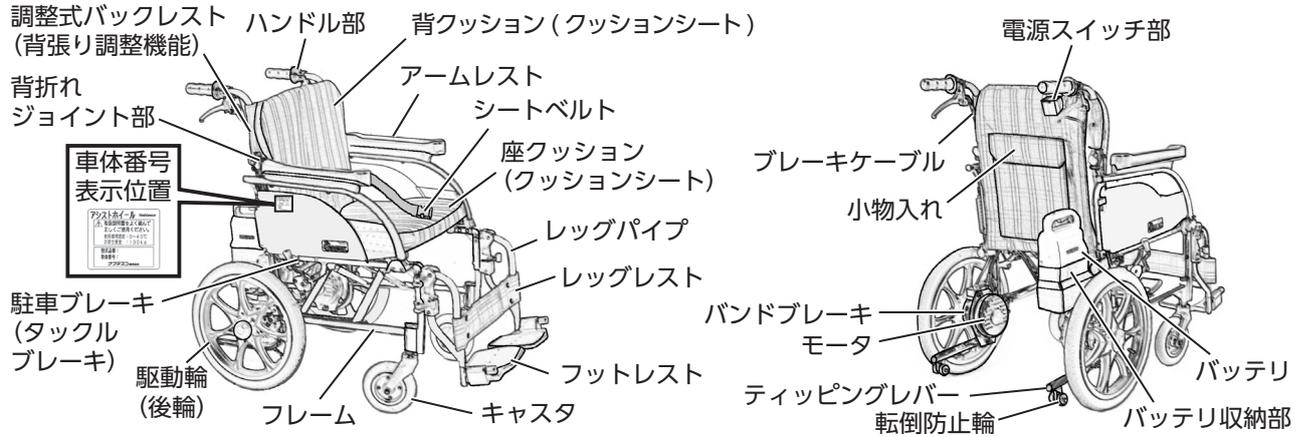


もくじ

はじめに	1	バッテリーの取扱方法	23
安全に関する表示	1	バッテリーの長期保管	23
安全上のご注意	2	バッテリーの交換	23
本体に関する取扱注意	2	バッテリーおよび充電器の各部名称	24
バッテリー・充電器に関する取扱注意	5	充電器表示ランプの内容	24
本体各部の名称と梱包内容	7	バッテリーの充電方法	25
梱包内容	7	故障かな?	27
アシストホイールの 基本構成と特徴 (機能)	8	車いすの走行時	27
特徴 (機能)	8	バッテリー充電時	28
構成	8	日常の点検・ お手入れと保管方法	29
各部の使用法	9	日常の点検	29
車いすの折りたたみかたと開きかた	9	日常のお手入れ	30
ブレーキの使用法	10	保管方法	30
シートベルトの使用法	11	製品仕様	31
クッションシートの取付方法	12	介助用電動アシスト車いす	31
フットレストの調整	12	充電器	31
移乗時のアームレストスイングアップ および着脱方法 (DT 型)	13	保証とアフターサービス について	32
フットレストのスイングアウト および着脱方法 (DT 型)	15	保証規定	32
アシストホイールの操作方法	17		
駐車ブレーキをかける	17		
バッテリーを取り付ける	17		
電源を入れる・電源を切る	18		
運転する	18		
残量表示ランプの内容	21		



本体各部の名称と梱包内容



NAW-16C-DT-HP-G 型

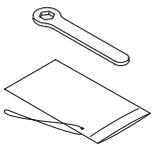
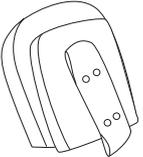
ハンドル部 (センサー内蔵)	電源スイッチ部	バッテリー	バッテリー収納部 (制御部内蔵)
グリップ (ハンドル) ハンドブレーキレバー 安全スイッチ	電源スイッチ 電源スイッチ部 残量表示ランプ	方向指示シール 取手部 ロック解除レバー 充電器接続端子 接点 (2箇所)	バッテリ収納部 制御部

梱包内容

段ボール箱を開き、内容品の確認をしてください。

内容物に違いがあった場合は、**お買上げの販売店にご連絡ください。**

※ 標準梱包には、予備バッテリーは含まれておりません。ご要望があった場合のみ別途有償にて梱包いたします。

標準梱包の場合			ご要望があった場合
バッテリ 	充電器 	車いす 本体 	予備バッテリー 
スパナ 	シートセット 	取扱 説明書 	



ポイント

同封のバッテリーは安全上のため、充電はしてありません。
ご使用前に必ず充電してください。 (バッテリー充電方法：P24～P26 参照)



アシストホイールの基本構成と特徴（機能）

■ 特徴（機能）

アシストホイールは電源を入れた状態ではハンドルの動きに応じて自動的にアシスト機能が作動します。電源を切ると通常の車いすとして使用できます。

[電源を入れた状態では]

1 平地および坂を上るとき

進行方向にハンドルを押す（後ろ向きの場合は引く）だけで補助力*が得られます。

特別な操作は不要です。

※一定以上の力で押す、または引いた場合に作動します。

2 坂を下るとき

進行方向と逆方向にハンドルを引く（後ろ向きの場合は押す）ことでブレーキがかかり、坂をゆっくり降りることができます。

3 停止するとき

・進行方向と逆方向にハンドルを押す（または引く）と補助力が逆に働き、ブレーキがかかります。ただし、急な坂道で長時間停止するときは過負荷防止機能*が働くため、ハンドブレーキを使用してください。

※過負荷防止機能とは、上り坂の途中で停止した時など長時間車輪がロックした状態で大きな電流が発生している時に機器を保護するための機能です。

・急に停止する時あるいは急な坂道で停止する時は、ハンドブレーキをかけてください。ただし、ハンドブレーキを使うと補助力（駆動力）がなくなりブレーキになりますので必要なとき以外はブレーキレバーに触れないようにしてください。

・下り坂の途中で万一、介助者が手を離しても車いすが一定の速度*を越えると加速防止機能が作動し、速度が抑えられます。

※加速防止機能は、時速 6km/h（速足程度）以上で作動します。

■ 構成

アシストホイールは、介助用手動車いすに次のような機構を組み込んだものです。

・ハンドル部

車いすを押し引きしているときの力をセンサーが検知します。

・制御部

ハンドル部の押し引きの信号を受けてモータを駆動する信号を送ります。

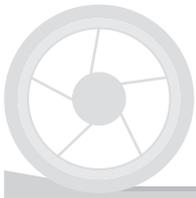
・駆動部（モータ・ギヤ）

制御部から信号を受けて、駆動力（またはブレーキ力）を発生して車輪に伝えます。

・バッテリー部

制御部から送られてきた信号に従って電流を流します。

（モータを駆動するための電気をためておきます。）



各部の使用法

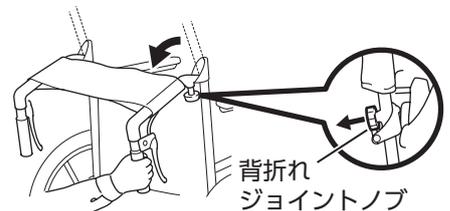
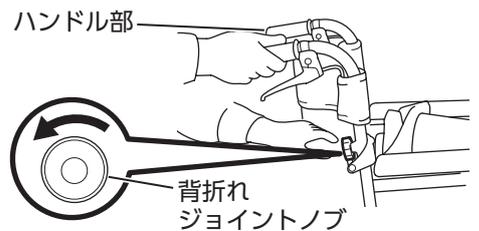
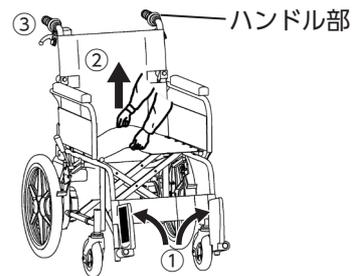
■ 車いすの折りたたみかたと開きかた



• 車いすを開くとき、たたむときは、フレームに手を挟まないように注意する (P3 参照)
 • 背折れジョイントノブにかばんなどを掛けない
 ロックが解除される恐れがあります。

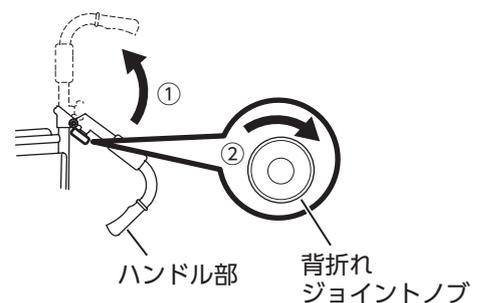
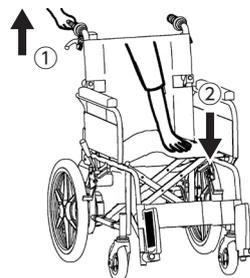
● 折りたたみかた

- 1 フットレストを矢印の方向に折りたたみます。
- 2 座シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げます。
- 3 ハンドル部を合わせます。
- 4 背折れジョイントノブを矢印の方向に回してロックを解除します。
- 5 背折れジョイントノブをひっぱりながら、ハンドル部を握り矢印の方向に倒します。



● 開きかた

- 1 片側の車輪を少し浮かせます。
- 2 車輪を浮かせていない側の座シートを、手の平で押して開きます。
- 3 ハンドル部を握り矢印の方向に押し上げます。
- 4 背折れジョイントノブを時計方向に回して、しっかりと締めます。
- 5 完全にロックされたことを確認します。





■ ブレーキの使用法



注意 駐車ブレーキおよびハンドブレーキを使用するときは、必ず両側を同時に作動させる
車いすが動き、バランスをくずして転落事故の原因となります。

● 駐車ブレーキ（タックルブレーキ：左右 2 箇所操作）



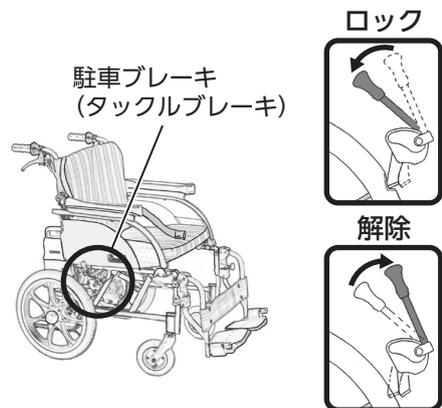
- 傾斜のある路面での駐車は行わない
駐車する時は必ず平地で行うようにしてください。
- タイヤの空気圧（16 インチ駆動輪）
250kPa[2.5kgf/cm²]（大人の親指で押し少しへこむ程度）

〔 駐車ブレーキのロック方法 〕

駐車ブレーキでタイヤがロックします。
レバーを後ろへ引くとロックします。

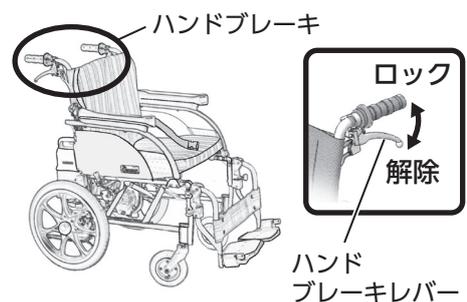
〔 駐車ブレーキの解除方法 〕

レバーを前へ押しと解除します。



● ハンドブレーキ（左右 2 箇所操作）

ハンドブレーキレバーを握ります。
握る強さに応じて、ブレーキが効きます。





■ シートベルトの使用法

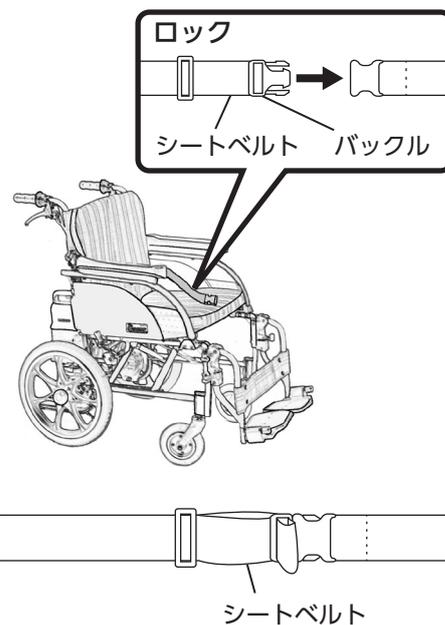


搭乗者の安全確保のためシートベルトを着用する
本シートベルトは、屋外で使用する場合、坂道などで搭乗者がすべり落ちないようにするためのものです。



バックルをしっかりとロックして、ベルトを締める
バックルが確実にロックされていないと、緩みが大きいとシートベルトの機能が発揮されません。

- 1 車いすに深く腰を掛け、バックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- 2 差し込んだ後、確実にロックされていることを確認します。
- 3 ベルトの緩みがないよう長さを調整します。





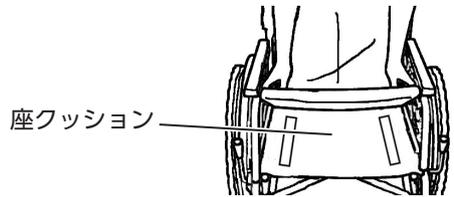
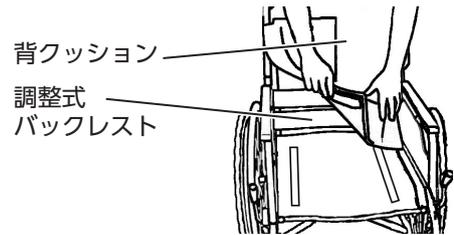
■ クッションシートの取付方法



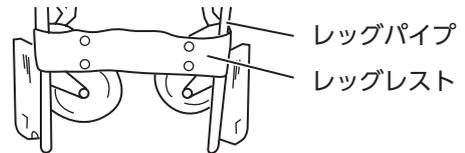
警告

- 背クッション・座クッションのマジックテープは確実に固定する
固定していないと、シートがズれて、転倒事故の原因となります。
- マジックテープに付いた糸くずや汚れは定期的に取り除く
固定力が弱くなり、衝撃を受けたときなどに外れて、転倒事故の原因となります。

- 1 調整式バックレスト（背張り調整機能）のベルトの張りを好みに合わせます。
- 2 背クッションを調整式バックレストを挟むようにして固定します。
- 3 座クッションを、シートの上に固定します。



- 4 レッグレストをレッグパイプに巻いて固定します。

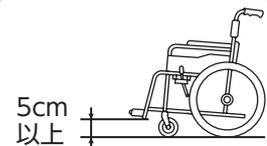


■ フットレストの調整

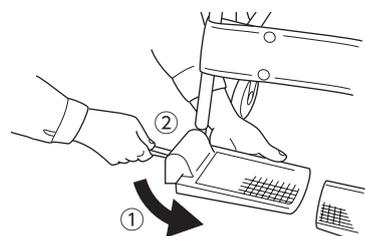


注意

- フットレストの先端（ボルトまたはノブの下端）の高さは地面より5cm以上で使用する
低すぎると凹凸路面や障害物にフットレストが当たり、転倒する危険があります。



- 1 フットレストを外側に少し倒します。
- 2 付属品のスパナでレッグパイプの先端ボルトをフットレストが少し動くところまで緩めます。
- 3 フットレストを矢印方向へ回転させて、高さ調整を行います。
- 4 先端ボルトを完全に締め付けます。





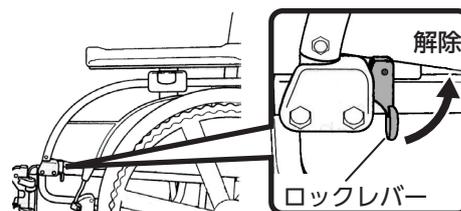
■ 移乗時のアームレストスイングアップおよび着脱方法 (DT 型)



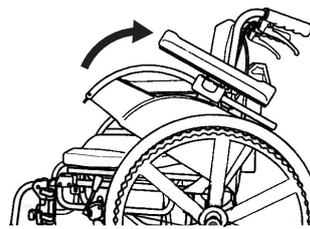
アームレストのスイングアップ・着脱は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行う。

● スイングアップをするとき

1 ロックレバー部分を矢印の方向に起こします。

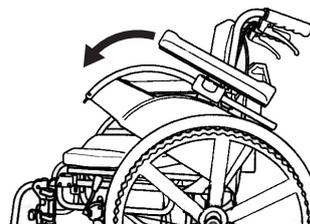


2 アームレストを後方に上げます。

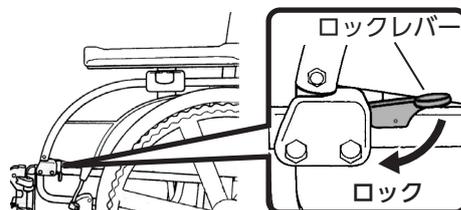


● スイングダウンをするとき (元に戻すとき)

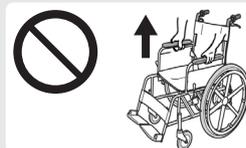
1 アームレストを下ろします。



2 ロックレバーを元の位置に戻します。



- 走行する前は、ロックレバーのロックピンが完全にロックされていることを確認する
- 搭乗者の乗り移り時以外は、必ずアームレストを下ろした状態で使用する。
転落事故の原因となります。
- アームレストを持って車いすを持ち上げない
バランスをくずして、倒れて危険です。

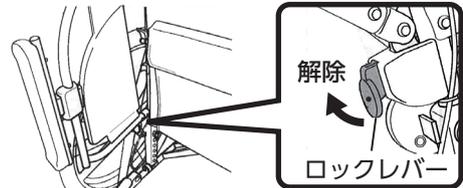




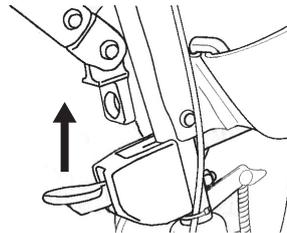
● 取りはずすとき

スイングアップを行った後に次のように取りはずします。

- 1 ロックレバー部を矢印の方向に起こします。

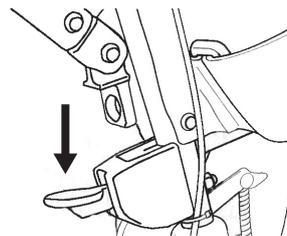


- 2 上に持ち上げてはずします。

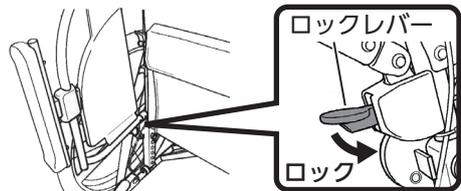


● 取りつけるとき

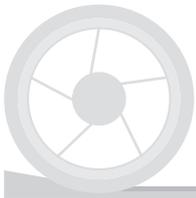
- 1 アームレストを差し込みます。



- 2 ロックレバーを元の位置に戻します。



- 走行する前は、アームレストをしっかりと差し込み、必ずロックレバーを元の位置に戻す
- 乗り移りのとき以外は、必ずアームレストを取りつけた状態で使用する
転落事故の原因になります。



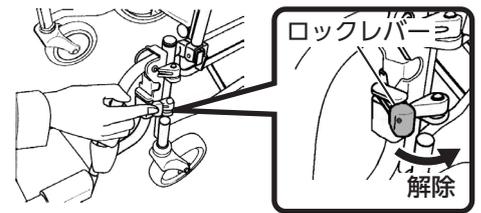
■ フットレストのスイングアウトおよび着脱方法 (DT 型)



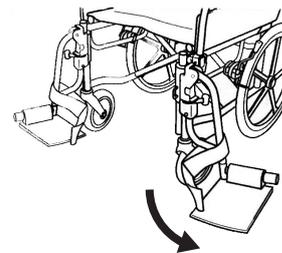
フットレストのスイングアウト・着脱は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。

● スイングアウトをするとき

- 1 レッグレストを中央で分割して、ロックレバーを解除します。

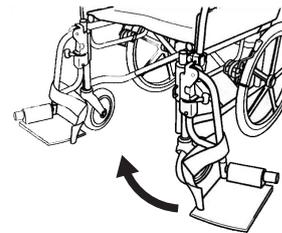


- 2 フットレストを外へ回転させます。

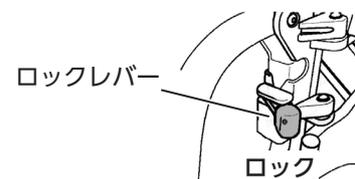


● スイングインをするとき (元の位置に戻すとき)

- 1 フットレストを内へ回転させます。



- 2 ロックレバーで固定されたことを確認します。

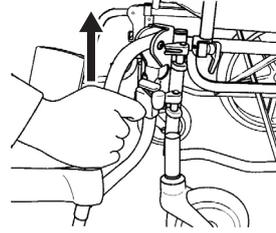


- 走行する前は、ロックレバーが確実にロックされていることを確認する
- 必ずレッグレストを取りつけた状態で使用する
足がキャストにあたり危険です。
- フットレストを持って車いすを持ち上げない
バランスをくずして、倒れて危険です。
- 走行する前は、搭乗者の足がフットレストに正しくのっているかを必ず確認する



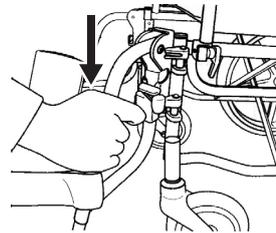
● 取りはずすとき

スイングアウトした状態からフットレストを上方へ抜きます。

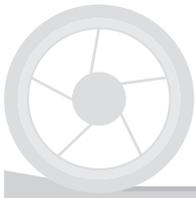


● 取りつけるとき

本体側の 2 つピンにフットレスト側の穴を合わせて、取りつけます。



- 走行する前は、ロックレバーが確実にロックされていることを確認する
- 必ずレッグレストを取りつけた状態で使用する
足がキャストにあたり危険です。
- フットレストを持って車いすを持ち上げない
バランスをくずして、倒れて危険です。
- 走行する前は、搭乗者の足がフットレストに正しくのっているかを必ず確認する



アシストホイールの操作方法

お使いになる前の準備が終わりましたら、次の手順に従って操作してください。

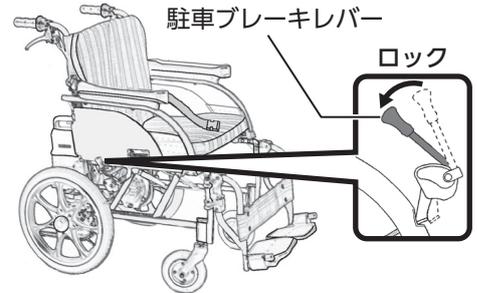
■ 駐車ブレーキをかける

[操作内容]

駐車ブレーキを操作し、車いすが動かないように固定します。

[操作状態]

駐車ブレーキレバーを手前にロックするまで引きます。
(P10 参照)



■ バッテリーを取り付ける



本製品に付属されているバッテリー以外は使用しないでください。

同シリーズ製品のバッテリーとは仕様異なるため併用できません。あやまって使用すると、本来の連続走行距離に達する前にバッテリーの残量がなくなり、アシスト機能が停止します。



- バッテリーの取手をしっかりと握ってバッテリー収納部に差し込んでください。
(握ることでロック解除レバーが作動します。)
- バッテリーを取りはずす場合は、必ず電源を切ってください。

[操作内容]

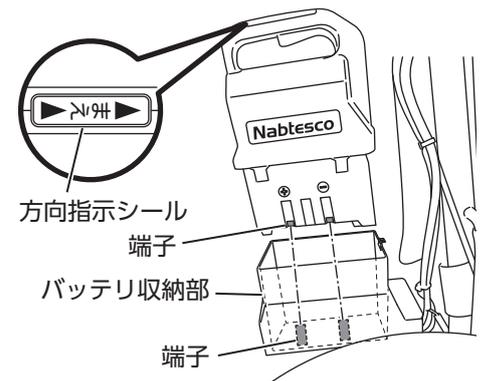
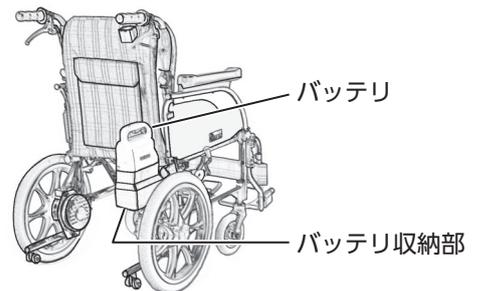
充電“済”の「バッテリー」を「バッテリー収納部」に入れます。

[操作状態]

バッテリーには⊕⊖の極性があり、接続方向が決まっているため正しい位置に、しっかりと奥まで差し込みます。



「方向指示マーク」の矢印の方向を前側に差し込んでください。





■ 電源を入れる・電源を切る

● 電源を入れる

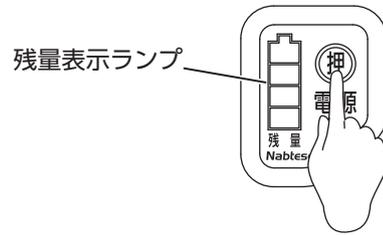
[操作内容]

「電源スイッチ」の押ボタンを「残量表示ランプ」が点灯するまで押しつづけてください。

[操作状態]

「残量表示ランプ」が点灯します。

※ランプの内容については P21 の「残量表示ランプの内容」をご参照ください。



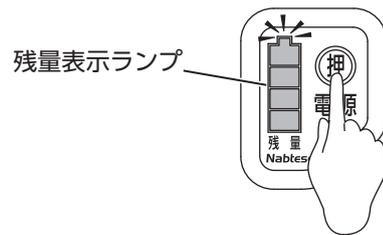
● 電源を切る

[操作内容]

「電源スイッチ」の押ボタンを「残量表示ランプ」が消灯するまで押しつづけてください。

[操作状態]

「残量表示ランプ」が消灯します。



■ 運転する



- 走行中はハンドブレーキに触れない
ハンドブレーキを使うと補助力（駆動力）が徐々になくなります。
- 電源を切った状態で搭乗者を乗せて坂の上り下りをする場合は十分に注意する
電源を切っても車いすと同じように使用できますが、モータによる補助力が得られません



- **搭乗者なしで走行**する場合、一時的にブレーキがかかることがあります。
電源を切って走行すればブレーキはかかりません。
(電源が入った状態で車いすが急に動き出すと、加速防止機能が作動するよう設計されています)
- オートパワーオフ機能があり、**操作をしない状態が 15 分間**続くと自動的に電源が切れます。
ご使用になるときは再度電源を入れてください。
- ハンドリムを回して移動する際には電源を切ってください。
(NAW-22C-HP-G 型のみ)
電源が入っている場合はモータの制動力により動きにくく感じます。

NAW-22C 型

ハンドリム

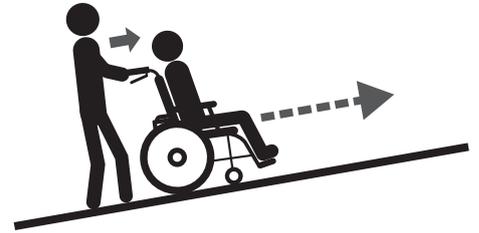




以下の操作は、必ず**駐車ブレーキのロックを解除**してから行ってください。

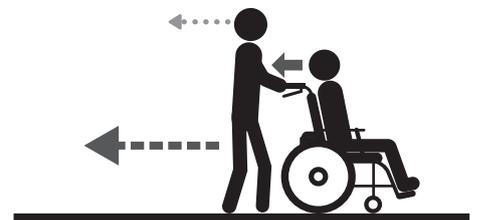
[前進する (平地を進む・坂を上る)]

左右のハンドル部を軽く押し、前方に歩きます。



[後進する]

左右のハンドル部を軽く引き、後方を確認しながら後ろ向きに歩きます。



[坂を下る]

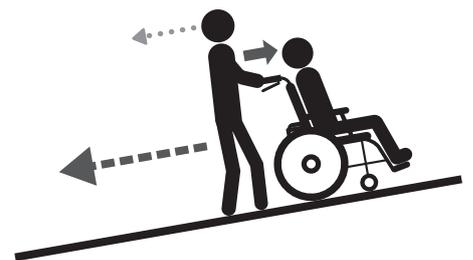
• 前向きに下る

左右のハンドル部を軽く引くようにして、前方に歩きます。
モータが作動し、車いすはゆっくりとした動作で下ります。



• 後向きに下る

左右のハンドル部を軽く押すようにして、後方を確認しながら後ろ向きに歩きます。
モータが作動し、車いすはゆっくりとした動作で下ります。



ポイント

急な坂道は安全のため後向きに下りてください。



[キャスタを浮かせる（段差や溝の乗越え）]

1 電源を切ります。

 注意	<p>電源は必ず切る 電源が入ったままですと、アシスト機能により車いすが後進して、転倒するおそれがあります。</p>
---------------	--



2 ティッピングレバーを足で前に押し、または後ろに動かないよう支えます。

3 左右のハンドル部を後ろに引き、キャストを段に上げます。



4 タイヤが段差の端に当たるまで進めます。



5 左右のハンドル部を押し上げて、段差を乗り越えます。

6 段差を完全に乗り越えたら停車をし、電源を入れます。



[停止する]

・通常停止（前進）

左右のハンドル部を軽く引きます。



・通常停止（後進）

左右のハンドル部を軽く押します。



・緊急停止または急な坂道での停止

急に停止する場合や、急な坂道の途中で停止する場合は、ハンドブレーキをかけます。（P10 参照）



ハンドブレーキレバー

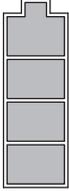
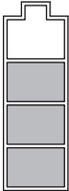
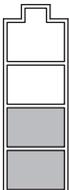
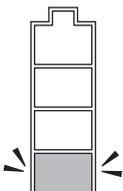
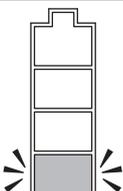


■ 残量表示ランプの内容



- 遠くへ出かける際には、必ずバッテリーを満充電にする
 - 残量には余裕をもって使用する
- 残量表示ランプはバッテリーの使用状況や環境によって正しく表示されない時があります。

● バッテリーの残量表示

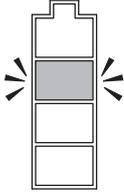
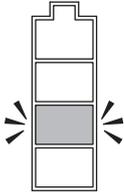
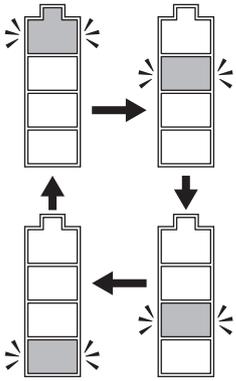
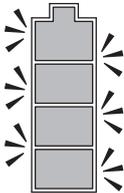
表示	バッテリーの状態	内容
	4 個点灯	約 75 ~ 100%
	3 個点灯	約 50 ~ 75%
	2 個点灯	約 25 ~ 50%
	1 個ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯)	約 0 ~ 25%
	1 個速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯)	0%
	点灯なし	バッテリー未接続

- バッテリーを差し込んで、電源を入れてください
- 点灯しない場合は、**お買い上げの販売店に連絡してください**

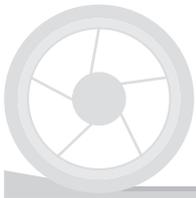


●アシスト機能の異常表示

アシスト機能に異常があった場合は、残量表示ランプに表示されます。
異常が表示された場合は、下記の内容に従い適切に処置してください。

表 示	アシスト機能 の状態	処 置
	右側ハンドル部の断線	お買い上げの販売店に連絡してください
	左側ハンドル部の断線	お買い上げの販売店に連絡してください
	過負荷防止機能 [※] の作動	安全な場所（平地）に移動し、 電源を入れなおしてください
	電源異常	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所（平地）に移動してください お買い上げの販売店に連絡してください <small>※電源を入れなおすと通常使用できますが、バッテリー周辺に異常が生じている可能性があります</small>

※ 上り坂の途中で停止した時など、長時間車輪がロックした状態で大きな電流が発生している時に機器を保護する機能です。



バッテリーの取扱方法

■ バッテリーの長期保管

バッテリーは自己放電により、使用していなくてもバッテリーの容量が徐々に減ります。長期保管をする場合は下記の項目を守ってください。

- 直射日光の当たらない、湿度の低い屋内に保管してください。
- バッテリーは満充電で保管してください。自己放電による影響が緩和されます。
- 長期保管後は、使用前に再充電してください。
- 1年を超える長期保管後は、使用前に急速充電をしてからリフレッシュ充電をしてください。急速充電だけでは、保管前の状態に戻らないことがあります。

■ バッテリーの交換

 Ni-MH	使用できなくなったバッテリーはリサイクルされます。 新品と交換するときに、旧品を返却してください。
 ポイント	バッテリーの寿命は、充電回数約 500 回です。 ただし、使用内容や使用環境により異なります。

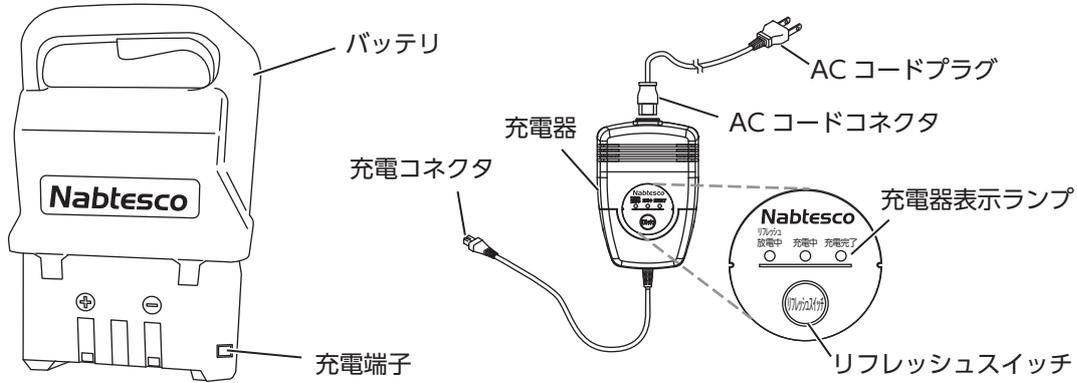
- 1 バッテリーが使用できなくなった場合は、**お買い上げの販売店にご連絡ください。**
新品のバッテリーがお客様に発送されます。

※ バッテリーの寿命、または保証期間経過後や保証対象外による故障は有償になります。

- 2 配達された新品の箱に旧品を入れて、**お買い上げの販売店に送ってください。**



■ バッテリおよび充電器の各部名称



■ 充電器表示ランプの内容



内容	表示ランプ状態			
	リフレッシュ放電中 (黄)	充電中 (赤)	充電完了 (緑)	
正常動作	ACコード接続	○	● (with slash) 点滅3回後消灯 (点滅 / 消灯: 0.5 秒)	○
	充電待機中	○	● (with slash)	○
	充電中	○	● (with dot)	○
	リフレッシュ中	● (with dot)	○	○
	予備充電中	○	○	● (with slash)
	充電完了	○	○	● (with dot)
異常動作	バッテリー未接続	○	○	○
	バッテリー異常①	○	● (with star)	● (with star)
	バッテリー異常②	○	● (with star)	○
	充電器異常①	● (with dot)	○	● (with star)
	充電器異常②	● (with dot)	● (with star)	● (with star)
	充電時間オーバー リフレッシュ時間 オーバー	○	○	● (with star)

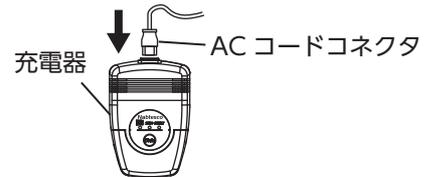


■ バッテリーの充電方法

充電方法は消費分を回復する急速充電と放電後充電するリフレッシュ充電の2種類あります。バッテリーの性能を回復するため、月に一度リフレッシュ充電をしてください。

● 急速充電の手順

1 ACコードのコネクタを充電器に接続します。

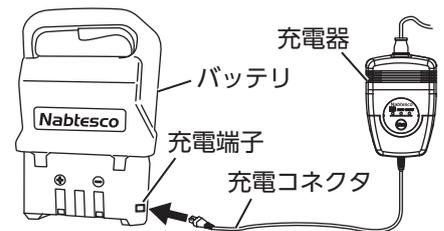


2 ACコードのプラグを、100Vコンセントに差し込みます。



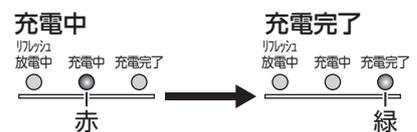
3 バッテリーの充電端子に、充電器のコネクタを接続します。充電が開始されます。

 ポイント	充電器のコネクタは向きを確認してから充電端子に接続してください。
---	----------------------------------

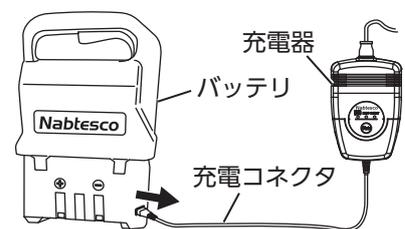


充電は約130分で完了します。

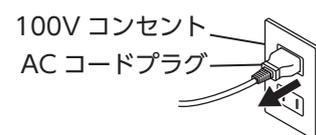
 ポイント	充電時間はバッテリーの使用状況や環境により異なります。
---	-----------------------------



4 充電完了後、充電器のコネクタをバッテリーから取り外します。



5 ACコードのプラグを、100Vコンセントから抜きます。



6 ACコードのコネクタを充電器から取り外します。





● リフレッシュ充電の方法

リフレッシュ充電では、放電と充電が自動的に行われます。

バッテリーの電力を完全に放電させてから充電を行うことで、バッテリーの性能を回復し、走行時間の低下を防ぎます。

注記

リフレッシュ充電は月に1回を目安に行う

リフレッシュ充電を頻繁に行うと、バッテリーの劣化を促進します。

リフレッシュ充電は適切に行ってください。

手順 **1** ~ **3** は急速充電と同様です。P25 の手順 **1** ~ **3** を参照してください。

- 4** 充電コネクタ接続後 1 分以内に、充電器のリフレッシュスイッチを押してください。



放電が開始されます。

リフレッシュ放電中



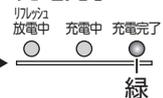
放電が完了すると、充電が開始されます。

リフレッシュ充電は、放電から充電まで最大 13 時間程かかります。

充電中

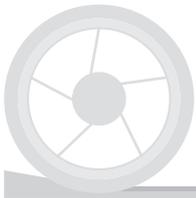


充電完了



充電時間はバッテリーの使用状況や環境により異なります。放電前のバッテリー残量が少ないほど、充電時間は短くなります。

充電後の手順は急速充電と同様です。P25 の手順 **4** ~ **6** を参照してください。



故障かな？

本製品をご使用中に故障かなと思われたときは、以下の項目を確認してください。

■ 車いすの走行時

症状：アシスト機能使用時、車いすの操作が重くなった

原因	対処方法	参照
駐車ブレーキがかかっている	ブレーキを解除してください	P10
ハンドブレーキをかけている		
残量表示ランプが点灯していない	・バッテリーを正しく装着してください ・電源を入れてください	P17 P18
バッテリーが充電されていない	・バッテリーを充電する ・充電されているバッテリーと交換する	P25
残量表示ランプの一番下が点滅している		
残量表示ランプの一番下以外が点滅している	残量表示ランプの内容を確認し、適切に処置してください。	P21
上記以外	使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください	—

症状：まっすぐ走れない

原因	対処方法	参照
ブレーキがかかっているのに、車輪が回らない	使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください	—
ブレーキがかかっているのに、片方の車輪しか回らない		

症状：アシスト機能の走行時間が短い

原因	対処方法	参照
バッテリーが十分に充電されていない	・充電されているバッテリーと交換する ・バッテリーをリフレッシュ充電する	P26

症状：駐車ブレーキまたはハンドブレーキの効きが甘い

原因	対処方法	参照
タイヤの空気圧が十分ではない	タイヤに空気を入れてください	P10
上記以外	使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	—

症状：煙が出たり異臭がする

原因	対処方法	参照
アシスト機能に異常が発生した	・電源を切りバッテリーをはずしてください ・使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	P17 P18



症状：ハンドブレーキをかけてもモータが止まらない

原因	対処方法	参照
モータに異常が発生した	<ul style="list-style-type: none">電源を切りバッテリーをはずしてください使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	—

■ バッテリー充電時

症状：充電されない

原因	対処方法	参照
バッテリーまたは充電器に異常が発生した	充電器の表示ランプを確認のうえ、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください	P24
ACコードのプラグがAC100Vコンセントから抜けている	AC100Vコンセントにプラグを差し込んでください	P25
ACコードのコネクタが充電器から抜けている	充電器にコネクタを差し込んでください	P25
充電器の充電コネクタがバッテリーから抜けている	バッテリーにコネクタを差し込んでください	P25

症状：充電がすぐに終わる

原因	対処方法	参照
充電済のバッテリーを充電している	再充電でも充電がすぐに終わる場合は、充電が完了しています	—

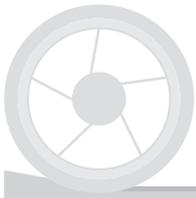
症状：充電が待機状態から進まない

原因	対処方法	参照
走行直後などでバッテリーの温度が高い	<ul style="list-style-type: none">温度が下がるまで待機してください涼しいところに移動してください	—
炎天下や高温下で充電している		

症状：充電器の表示ランプが早い点滅（0.2秒ごと）をしている

症状：煙が出たり異臭がする

原因	対処方法	参照
バッテリーまたは充電器に異常が発生した	<ul style="list-style-type: none">ACコードのプラグをAC100Vコンセントから抜いてくださいバッテリーから充電コネクタを外してください使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください	P25



日常の点検・お手入れと保管方法

■ 日常の点検

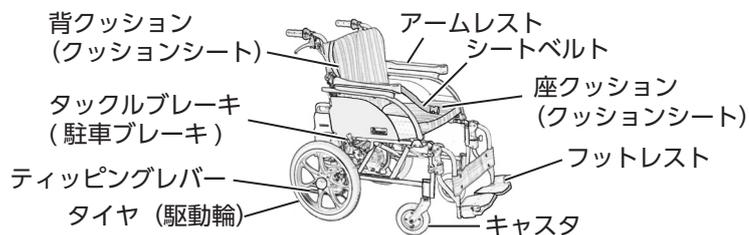
安全にご使用いただくために、ご使用前に下記の点検をお願いします。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> 点検で異常が見つかった場合は、使用を止める 転落などの事故の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。 点検は、電源を切りバッテリーを取外した状態で行う ただし、走行中の点検内容は除きます。 点検は、人が搭乗していない状態で行う
--	---

 注意	点検時は、すき間などに手を挟まないように注意する
--	--------------------------

 ポイント	1 週間に一度は定期点検として、より細かく点検してください。
--	--------------------------------

[点検内容]



点検項目	チェック
走行中や折りたたみ動作時などに異常なガタはないか?	
走行中にキシミ音やこすれ音などの異常な音がしないか?	
タイヤは適正な空気圧になっているか? (P10 参照)	
駐車ブレーキおよびハンドブレーキは正常に作動するか? (P10 参照)	
シートベルトはきちんとロックされているか? (P11 参照)	
アームレストがきちんとロックされているか? (P13 ~ 14 参照)	
フットレストがきちんと固定されているか? (P15 ~ 16 参照)	
クッションシートは正常に固定されているか? (マジックテープに糸くずなどが付着していないか?)	
各部のボルト、ナット、ビス、リベットに緩みがないか?	
下記部位に異常 (ガタ・変形・ひび割れ・劣化など) がないか? <ul style="list-style-type: none"> アームレスト フットレスト タイヤ (駆動輪) フレーム キャスタ ティッピングレバー 	



■ 日常のお手入れ

いつまでもきれいに使用起来いただくために、日常のお手入れは欠かさず行ってください。

 警告	<ul style="list-style-type: none">• お手入れは、電源を切りバッテリーを取外した状態で行う• お手入れは、人が搭乗していない状態で行う
--	---

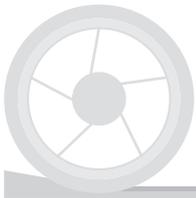
 注意	<ul style="list-style-type: none">• お手入れ時は、すき間などに手を挟まないように注意する• バッテリー収納部の端子には触れない 端子が変形して接触不良の原因になります。• ボルト・ナットの締結部品をゆるめたり、部品を分解したりしない• 配線ケーブルを無理に引っ張らない 断線などの原因になります。• 汚れを落とす場合は、水や薬品を絶対にかけない 電子部品を使用しておりますので電気系統に水が入りますと、作動不良になったり安全を損なうことがあります。	
--	--	---

[お手入れ内容]

- フレームは「サビ」ることがありますので、ときどき乾いた布で拭いて、汚れを取り除きます。
- シートが汚れたときには、水を含ませ強く絞ったタオルなどですぐに拭き取ります。
- バッテリーの接触不良を防ぐために、バッテリーの接点を乾いたタオルで片方ずつ拭きます。

■ 保管方法

 注意	<ul style="list-style-type: none">• 車いすを使用しないときは、バッテリーを必ずはずし、駐車ブレーキをかける 子供や、操作を知らない人が操作すると危険です。• 車いすは砂ぼこりなどがかからないように保管する• 車いすは直射日光が当たる所、雨に濡れる所、湿気の多い所を避けて保管する• バッテリーは、湿気の多い所や、高温になる所を避けて保管する• バッテリーを長期保管する場合は、満充電で保管する (P23 参照)	
--	---	---



製品仕様

■ 介助用電動アシスト車いす

名称	アシストホイール		
型式	NAW-16C-DT-HP-G	NAW-16C-SD-HP-G	NAW-22C-SD-HP-G
タイヤサイズ	16 インチ		22 インチ
アームレスト	スイング・着脱	固定	固定
フットレスト	スイング・着脱	固定	固定
本体外形寸法 (全長×全幅×高さ)	1000×590×880mm	980×615×870mm	1050×655×870mm
座シート折りたたみ時の全幅	330mm		380mm
重量 ^{※1}	24.2kg	22.7kg	24.6kg
制御方式 / 駆動方式	マイコン制御 / 電動モータ駆動		
電源	ニッケル水素電池 24V 3.2Ah		
実用登坂角度	14° (速度: 約 2km/h) ^{※2}		
連続走行距離	8km (速度: 約 4km/h) ^{※2、※3}		
使用温度範囲	0～40℃ (ただし結露のないこと)		
搭乗者最大体重	100kg (積載物含)		
標準装備品	背張り調整機能、クッションシート、背折れ機能、 転倒防止輪、シートベルト		

※1 バッテリー、クッションシートを除く

※2 充電済バッテリー (新品)、周囲温度: 約 25℃、搭乗者の体重: 75kg の条件で測定

※3 ナブテスコパターンで走行
直線平坦路: 13%、3°上り: 43.5%、3°下り: 43.5%

■ 充電器

電源 (AC 入力)	AC100 ～ 240V 50-60Hz
定格出力 (DC 出力)	DC32V 1.5A
充電時間	約 130 分 (周囲温度 20℃)
使用温度範囲	0 ～ 40℃ (ただし結露のないこと)
使用電池	NAW- 専用バッテリー (Ni-MH 24V 3.2Ah)



保証とアフターサービスについて

■ 保証規定

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

本製品が保証期間内に自然故障をした場合は、無償で修理いたします。

ご使用中に万一故障した場合は、**お買い上げの販売店にご連絡ください。**

ただし、以下の場合は保証期間内であっても、無償修理の対象外とさせていただきます。

- ア) 取扱方法の誤りによる故障
- イ) 落下・圧迫・衝撃などによる故障
- ウ) 手入れ不良による故障
- エ) 製品の分解、または改造による故障
- オ) 専用の部品以外を使用した場合
- カ) 自然災害や異常電圧など、外的要因による故障
- キ) 消耗品や、各部の劣化による故障および損傷
- ク) 仕様・性能の限度を越える使用をした場合
- ケ) 保証書の提示がない場合

● ご注意

- 利用者の急激な体調の変化など、利用者側の事情により事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 一度ご使用になった商品は、原則として交換いたしません。
- 実費修理に要する運賃などの諸経費はお客様負担とさせていただきます。

保証書

この保証書は、当社保証規定に基づき、明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

* 印がついている項目に必要な事項を記入してください。

機種	NAW-C-HP-G 型
車体番号	
お買い上げ日 (*)	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様 (*)	お名前
	〒 ご住所
	電話番号
販売店 (*)	店名・住所
	電話番号

製造元

お問い合わせ先 フリーダイヤル



0120-725-294

※ 固定電話のみ

営業時間：9:00～17:00（土日祝休み）

ナブテスコ 株式会社

住環境カンパニー 福祉事業推進部

サービスセンター

〒658-0024 兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町 35

TEL: 078-569-2600 FAX: 078-413-2725

<http://welfare.nabtesco.com>